

富山市が取り組む国際連携



インドネシア共和国でのごみ対策の事例から

環境政策課 ☎443-2053

都市の理想を、富山から。



「SDGs未来都市」としての役割

「SDGs未来都市」に選定されている富山市は、環境先進都市としての役割を果たすため、脱炭素社会実現に向けたさまざまな取り組みを行っています。また、国外の都市と連携し、市や市内企業が持つ環境に関するノウハウの国際展開を進めています。

※諸外国におけるこれらの国際連携事業は、現地国の資金や、環境省・経済産業省・JICA(国際協力機構)などの資金援助を受けて実施されています。

市が行っている連携事業をご紹介します

インドネシア共和国バリ州

市とバリ州は2017年に協力協定を締結しました。2024年10月にはJICAのプログラムを活用し、バリ州バドゥン県にコンポストプラントを設置した市内の企業を支援しました。

コンポストプラントって何？

微生物の作用で生ごみなどを発酵・分解し、コンポスト(堆肥)を作る設備です。スクリーによる生ごみの攪拌と、床のブロアー(送風機)からの空気により、悪臭の少ない「高温好気性発酵」で、良質なコンポストを生成します。



▲コンポストプラント(長さ100m)。1日あたり最大50tの生ごみを処理し、17tのコンポストを製造できます。



富山市の役割

本事業において市は、現地の自治体や関係省庁との交渉支援、ごみの分別についての助言などを行いました。



しゅんこう
竣工式には藤井市長も出席しました

記念碑に署名する藤井市長



このコンポストプラントが現地のごみ問題の課題解決に大きく貢献し、インドネシア国内で展開されていくことを期待しています。

環境分野における

海外ビジネス展開 支援セミナー

環境に関する技術・ノウハウの海外展開に興味がある企業・団体を対象に、市が取り組む国際連携事業について説明します。

※セミナーの後、個別相談会(要事前申込)を実施予定です。

内容はこちら

- 海外におけるビジネス展開の可能性
- インドネシア共和国バリ州の連携による新規事業のご紹介
- 富山市の都市間連携事業について
- 質疑応答

日時	1月16日(木)14:00～15:30
場所	Toyama Sakuraビル 大会議室(新桜町)
対象	市内に事業所を有する企業・団体
費用	無料
申込期限	1月9日(木)

申込フォーム

